

翠巒 (すいらん)

創刊号

平成29年12月1日発行

会長の挨拶

「御挨拶」

2011年3月に私が門司学園高校を卒業してから早くも六年以上の月日が経とうとしている。同時に私が門司学園高校の同窓会組織である翠巒会に関わり始めて、もう六年も経ったのだと思うと感慨深いものがある。若輩ながらも同窓会誌の寄稿者として指名されたことに感謝と誇りで胸が熱くなるものだ。今回は同窓会誌の最初の寄稿者として、本誌発刊にいたった「想い」を述べたい。

まずは同窓会活動の記録を残すという「想い」である。発足から現在まで翠巒会は、同窓会総会・懇親会の企画運営や母校への支援、奨学金事業の立ち上げといった数々の活動を行っている。確かにこれまで綿密に記録の引き継ぎを行ってきたが、今後同窓会組織が拡大するに伴って、活動記録が欠ける可能性もある。また表面的な活動記録にはのらない、同窓会の根底にある「想い」を引き継ぐことが、同窓会発足から関わっている役員者の使命でもある。そこで今回、活動記録を同窓会誌という形で残すことで、同窓会の活動そのものだけでなく、その根底にある「想い」を後世まで繋ぐことを期待して、同窓会誌を発刊することになった。

もう一つは同窓会生への情報発信という「想い」である。翠巒会発足以降、毎年八月に同窓会総会と懇親会が行われている。これは同窓会としての活動報告や同窓生との交流を行っているものだが、全ての同窓生が参加できるわけではない。また各種SNSを利用して情報発信は行っているが、その周知にも限界があるという現状だ。そこで同窓会誌を発刊することで、情報発信のルートを増やし、同窓生への情報共有をさらに活性化させるという目的がある。さらにインターネット上での公開という方法をとることで、過去の活動状況の確認やインターネット環境であればいつでも情報を知ることができ、情報に触れやすいという利点がある。これによりさらなる情報の共有を期待している。

その他にも「想い」はいくつかあるのだが、主なものは以上の二つになる。翠巒会と門司学園の今後の発展の新たな一歩になることを心から願う。

(翠巒会会長 財前裕一)

29年度活動計画

- 平成29年 4月16日（日）「役員会」（会場：門司学園）
- 平成29年 5月13日（土）「硯友会総会」（会場：リーガロイヤルホテル小倉）
- 平成29年 6月 3日（土）『第6回門司学園中高合同体育大会』
- 平成29年 6月18日（日）「役員会」「幹事会」（会場：門司学園）
- 平成29年 8月11日（金）「29年度定期総会」（会場：ジャポラマ&マロン）
- 平成29年 9月 9日（土）『第6回門司学園祭』
- 平成29年10月15日（日）「役員会」（会場：門司学園）
- 平成30年 1月21日（日）「役員会」（会場：門司学園）
- 平成30年 2月28日（水）「同窓会入会式」（会場：門司学園）

29年度役員名簿

会 長	財前 祐一（2期）			
副会長	世良 聡（1期）	山磨 玲音（6期）		
会 計	山口ちひろ（6期）			
会計監査	藤田 成美（2期）	江寄 裕子（2期）		
幹事長	本脇 優花（2期）			
幹 事	世良 聡（1期）	財前 祐一（2期）	山中辰之佑（3期）	
	村田銀二郎（4期）	小野 夏生（5期）	山磨 玲音（6期）	
	中谷 太一（7期）	中村真優樹（7期）	渡邊 光（8期）	
顧 問	坂口 秀俊（初代校長）			
	安部 範子（初代父母教師会長）			
担当教員	福地 瑤美（1期）	遠江 恵		

連絡先

福岡県立門司学園高等学校 事務室（古田）
北九州市門司区大字猿喰1462-2
TEL 093-483-1750
FAX 093-483-2005